

＝＝＝
プレスリリース

発行日：2025年7月29日

発信元：トヨタ・コニック株式会社／DAS LAB（ダス・ラボ）
＝＝＝

めざすはデータサイエンス+アートによる「信じられる米」づくり DAS LAB が東京農工大学の研究チームと地域農業の未来を共創

— 滋賀・高島を舞台に、未来のための持続可能モデル構築へ —

トヨタ・コニック株式会社（以下、TQ社）が中心となって立ち上げた地域共創コレクティブ「DAS LAB」は、国立大学法人 東京農工大学の山中晃徳教授らの研究チームと連携し、滋賀県高島にて「データサイエンス農業」プロジェクトを始動しました。本プロジェクトは、TQ社が掲げる「データで、ありがとうをつくる仕事。」というミッションの実践でもあり、最新のテクノロジーとアートによる思考やアプローチを活用した、地域と共に育む次世代型農業のかたちを構想する取り組みです。

【滋賀の地域課題に挑む「ウォーター・セントリック」という新視点から】

TQ社は、これまで約3年間にわたる滋賀県でのフィールドワークを通じて、過疎化・高齢化による一次産業の担い手不足や生産時における環境負荷、空き家や交通インフラの問題など、複雑に絡み合う様々な地域課題に向き合ってきました。

DAS LABとしてこれまでの活動を引き継ぎ、滋賀県の地域課題に取り組む上で大きなビジョンとして根底に置くのが、琵琶湖をはじめとする水資源の価値を第一に考えた上で社会や産業の未来を構想していく「ウォーター・セントリック（Water-Centric）」という視点です。今回のプロジェクトでは、滋賀県におけるウォーター・セントリックの実験地として高島を選定しました。DAS LABは、高島で農業や環境の課題を包括的に捉え、テクノロジー、データ、そしてアートとの融合により農業の未来を指し示していきます。

【データとアートで考える「信じられる農」のかたち】

今回のプロジェクトでは、DAS LABはTQ社とオーストリアのリンツ市にある世界的クリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ」が共同開発した「データアート&サイエンス（DAS）」という学際的アプローチ手法を導入しました。これは、データによる過去から現在まで起きていることの読み解きと、アートによる未来のための本質的な問いの創出や対話を促す直感的表現を融合させ、農業だけでなく環境・暮らし・経済を横断的にとらえた未来を模索する手法です。

【「信じられる米」づくりがもたらす3つの価値】

2025年春からスタートした高島エリアの水田における実証実験では、次の3つの価値を実現すべく取り組んでいます：

1. 水環境にやさしい米づくりの実現

現状を複合的なデータで把握し、琵琶湖をはじめとした滋賀の水環境への負荷を見つめ直すことで水環境にやさしい米づくりの実現をめざします。

2. 収穫量と品質の安定化による農家の負担軽減

最新のドローンやセンサーによるリモートセンシング技術、コンピューターシミュレーションおよびAIによる生育予測モデルなどを活用し、現在問題となっている温暖化による高温、渇水による米の収穫量の変化、品質の低下に対応することで農家への支援をめざします。

3. 複合データによるハイパー・トレーサビリティとブランドの構築

「誰が・どこで・どのように育てたか」がデータとしてはっきりと見えることで“信じられる米”としてブランディングして販売し、地元のみならず大きな消費力を持つ都市との関係をつくります。

【「信じられる米」づくりを、地域とともに育てていく】

DAS LAB は、上記の価値を追求する過程において、次のような「問い」を追求します。

「この米は誰がどんな思いで、どんな作業を行い、どんな工程を経て育てたのか」

「それらの過程でどんな環境条件のもとで管理され、いつ・どのように収穫・出荷され、どんな経路で届いているのか」

そして、

「それらの生産活動は琵琶湖という大切な水資源をはじめとした地域自然環境にどんな影響を与えているのか」

DAS LAB では、これらの問いへの「答え」を追求する一連のプロセスにおける“データ”を記録・可視化し消費者に公開することで、農業に“たしかな信頼”という新たな価値を生み出していきます。

今後は、休耕地となった棚田を「データサイエンス棚田」として再活用する取り組みも構想しており、企業や生活者が地域と関われる“参加型の農”としての体験設計をめざしています。また、この取り組みで得られたデータをオープンに共有するこ

とで新規就農における参入ハードルを下げるための取り組みも合わせて推進予定です。

【「滋賀 FUTURE THINKING WEEK」から始まった共創】

今回のプロジェクトのキックオフとしてTQ社は2025年春、彦根市にて「滋賀 FUTURE THINKING WEEK」を開催しました。本イベントはアーティスト、研究者、企業、学生、地域住民が一堂に会しウォーター・セントリックの視点で滋賀の未来を共に考える対話と共創の場となりました。

DAS LABは今後も東京農工大学の研究チーム、滋賀県高島で農業に携わる方々、自治体、酒造会社、滋賀銀行など、多様なパートナーと連携し、テクノロジー、データ、そしてアートが生み出す共創の力で“信じられる農”と“信じられる米”づくりを育んでまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

トヨタ・コニック株式会社／DAS LAB（ダス・ラボ） 担当：神野（ジンノ）

TEL：03-6757-8205

Email：yasumitsu_jinno@toyotaconiq.co.jp

滋賀 Future Thinking Week 公式サイト：https://www.sftw.jp

「滋賀 FUTURE THINKING WEEK」にて展示された東京農工大学の研究チームとの協力で実現した SUIDEN-DATA-CUBE



滋賀県高島市マキノ町在原地区にて、田んぼを舞台に始まっている
実証実験と田植えの様子

